

平成28年度 燕市西蒲原郡岡工部 活動報告

部長 田中 武彦

1 研究主題

子どもの思いをかきたてる題材の工夫

2 研究の概要

研究主題を基に第1回目の実技講習会では、子どもの思いや意欲をかきたてるような題材「お散歩ペットちゃん」という工作を授業形式で行い、第2回目は、実技講習会を基にしながら工作の授業を行った。

3 研究の実際

(1) 第1回 実技講習会

- ① 講師 新潟市立升潟小学校 教頭 南 伸裕 様
- ② 研修内容

今回は実技講習ということで、教師が子どもの目線で題材や材料と向き合いながら、南教頭先生の指導のもと作品を作った。「お散歩ペットちゃん」という題材で、ペットボトルを使って引いて動くペット（動物や虫等）を作った。この題材は、子どもが好きな要素である「①ものを見立てる②ペットと遊ぶ③身の回りのものでおもちゃを作る」が連続して埋め込まれており、子どもたちの思いや意欲を継続的にかきたてるものであった。また、作り上げたペットを散歩につれていながら、作品鑑賞したことで意見交流の場となり、研修が深まった。

(2) 第2回 研究授業

- ① 授業者 燕市立燕東小学校 小森 佳子教諭
- ② 題材名 「ともだち ハウス」 第2学年 （1, 2年 下P44～45）
- ③ 思いをかきたてるための手立て

- ・ペットボトルのキャップや小石、コルクなど小さなものに表情をかき、「ともだち」を作る。この小さな「ともだち」が過ごす家を作る活動は、子どもたちの想像を広げ、「どんな家にしようか」「どんな遊びをしようか」と様々な思いをかきたてさせる手立てとなる。
- ・遊びに行く時間を設定し、お互いのアイデアのよさを見付ける時間を設ける。「友達が来たとき、どんな遊びをしようかな。」と思いを広げ、次の制作に生かす材料となる。

4 成果と課題

今年度は、工作の領域で研修を行った。

- 実技研修会では、子どもの思いをかきたてるための題材提示の仕方や子どもの思いを形にするための技術指導について学ぶことができた。
- 研究授業では、実技研修会でヒントを得たことを基に、身近な材料を使って、子どもたちがかわりながら制作する姿が見られた。そして、友達や教師がかかわることで、一人では想像することができなかったアイデアが生まれ、またそこから派生的に多様なアイデアが生まれていった。これこそが、子どもたちが思いをかきたてている姿だと思った。
- 子どもの豊かな発想を形にするために、教師は日頃から技術指導を行い、積み重ねていくことが必要であると感じた。